

動物実験に関する自己点検・評価報告書

ナノ医療イノベーションセンター

2026 年 5 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程の整備状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程を整備している。 ☐ 機関内規程を整備しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を整備していない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ ナノ医療イノベーションセンター 動物実験に関する要綱 ・ ナノ医療イノベーションセンター 動物実験に関する組織体制図 ・ ナノ医療イノベーションセンター 動物実験委員会審査内規
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 飼養保管基準及び文科省基本指針に従って、機関内規程が定められている。但し、飼育保管施設と実験等を行う施設をまとめてあつまっているため、要綱に「実験等を行う施設」の記載がない。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

2. 動物実験委員会の設置状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ ナノ医療イノベーションセンター 動物実験に関する要綱 ・ ナノ医療イノベーションセンター 動物実験委員会審査内規 ・ 2025 年度 iCONM 動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 飼養保管基準及び文科省基本指針に従って、動物実験委員会が設置されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
--

2) 自己点検の対象とした資料 ・ ナノ医療イノベーションセンター 動物実験に関する要綱 ・ ナノ医療イノベーションセンター 動物実験委員会審査内規 ・ 動物実験(変更)計画書 (様式-1) ・ 動物実験実施状況報告書 (様式-2) ・ 動物実験終了報告書 (様式-3) ・ 動物実験施設設置申請書 (様式-4) ・ 動物実験施設利用状況報告書 (様式-5) ・ 動物実験施設廃止報告書 (様式-6)
3) 評価結果の判断理由 (判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。) 動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告といった動物実験の実施体制が定められている。様式-1には飼養保管条件と死体の処理方法の記載欄がないが、機関内に施設が1つしかなく、これらの条件や方法は規定で定められているため、これに従うものとする。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☐ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 公益財団法人川崎市産業振興財団 遺伝子組換え実験管理要綱 ・ 公益財団法人川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター バイオセーフティ管理要綱 ・ 毒物劇物取扱要綱 ・ 麻薬及び向精神薬取扱要綱 ・ 公益財団法人川崎市産業振興 ナノ医療イノベーションセンター ヒト由来生体材料取扱いに関する研究申請要領 ・ 遺伝子組換え実験計画書 ・ 研究用微生物等使用実験計画書 ・ ヒト由来生体材料を用いる研究申請書 ・ 動物実験(変更)計画書
3) 評価結果の判断理由 (判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。) 各種安全管理体制が適正に定められている。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果

- ☒ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した、適正な飼養保管の体制である。
- ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。
- ☐ 飼養保管施設を設置していない。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・ ナノ医療イノベーションセンター 動物実験に関する要綱
- ・ 動物実験施設設置申請書
- ・ 動物実験施設利用状況報告書
- ・ ナノ医療イノベーションセンター ヒト疾患モデル実験室 利用案内
- ・ ナノ医療イノベーションセンター 動物実験施設 管理業務要領
- ・ 緊急時の対応マニュアル

3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。）

飼養保管施設等の設置と廃止に関する要件が要綱定められており、確認に必要な各種書式等も適正に定められている。また、飼養保管施設には標準作業手順書として利用者向けに利用案内、使用者・実験動物管理者向けに管理業務要領、緊急時の対応のためのマニュアルが定められている。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取組及びその点検・評価結果）

要綱、利用案内は英語版も作成されている。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 動物実験(変更)計画書 ・ 動物実験施設設置申請書 ・ 動物実験委員会議事録 ・ 教育訓練開催記録、受講者名簿
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 期間内規定及び文科省基本指針に従って、動物実験委員会が適正に活動している。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 動物実験(変更)計画書 ・ 動物実験計画書 記入要領 ・ 動物実験委員会議事録 ・ 2025 年度動物実験実施状況報告書 ・ 動物実験終了報告書 ・ 2025 年度動物実験施設利用状況報告書 ・ 2025 年度動物実験の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 該当する動物実験を適正に実施している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 公益財団法人川崎市産業振興財団 遺伝子組換え実験管理要綱 ・ 公益財団法人川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター バイオセーフティ管理要綱 ・ 毒物劇物取扱要綱 ・ 麻薬及び向精神薬取扱要綱 ・ 公益財団法人川崎市産業振興 ナノ医療イノベーションセンター ヒト由来生体材料取扱いに関する研究申請要領 ・ 遺伝子組換え実験計画書 ・ 研究用微生物等使用実験計画書 ・ ヒト由来生体材料を用いる研究申請書 ・ 動物実験(変更)計画書 ・ 拡散防止措置に係る施設等の詳細 ・ 研究用微生物等に係る施設等の詳細 ・ 2025 年度研究用微生物使用実験実施状況報告書 ・ 2025 年度動物実験実施状況報告書 ・ 動物実験終了報告書 ・ 2025 年度動物実験施設利用状況報告書
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 2025 年度内に事故の報告はなく、各種実験が安全に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に実施している。 ☒ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 飼養保管施設を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料

・ ナノ医療イノベーションセンター ヒト疾患モデル実験室 利用案内 ・ ナノ医療イノベーションセンター 動物実験施設 管理業務要領 ・ 緊急時の対応マニュアル ・ ヒト疾患モデル実験室 利用申請書 ・ 動物搬入申請書 ・ 動物検収簿 ・ ヒト疾患モデル実験室入退室記録 ・ 微生物モニタリング検査結果 ・ 環境検査結果 ・ 飼育状況記録 ・ 作業記録 ・ 2025 年度実験動物飼養保管状況の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 動物実験委員会による定期的な調査・視察が行われていない。（一部委員は実験者として施設を利用している。）
4) 改善の方針、達成予定時期 2026 年度中に委員会の視察の実施体制を作り、視察を実施する。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に維持管理している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 飼養保管施設を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 動物実験施設設置申請書 ・ 設備保守点検記録類 ・ 環境検査結果 ・ 清掃記録 ・ 作業記録 ・ オートクレーブ年次自主検査表
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 2024 年度より一部エリアで室内温度が設定温度に到達しない現象が発生していたが、空調用ブースターヒーター二方弁の清掃を実施したことで改善した。 予算の都合上 HEPA フィルターの交換はできなかったが、現状性能には問題はない。中性能フィルターの交換は実施した。

4) 改善の方針、達成予定時期
特になし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果

- ☒ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に実施している。
- ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・ 動物実験講習会テキスト
- ・ 教育訓練開催記録、受講者名簿

3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。）

指針、基準に沿って教育訓練が適正に実施されている。新規受講者向けの講習会のほか、動物実験を継続する既受講者には外部の有識者による講習も別途実施している。管理者、飼養者も適宜外部学会、協議会等のセミナー、教育訓練等に参加し、知見を高める努力をしている。

4) 改善の方針、達成予定時期

実験動物管理者は 6 月に公私立大学実験動物施設協議会の実験動物管理者の教育訓練にオンラインで参加予定。(例年は動画配信を視聴している。)

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果

- ☒ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に実施している。
- ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・ ナノ医療イノベーションセンター ウェブサイト
- ・ 2025 年度動物実験実施状況報告書
- ・ 動物実験終了報告書
- ・ 2025 年度動物実験施設利用状況報告書

3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。）

ウェブサイトにて動物実験に関する情報公開を行うとともに、外部からの訪問者・取材に対しては必要に応じて施設を案内し、動物実験の実施状況、飼養保管状況を説明している。

4) 改善の方針、達成予定時期

2026 年に実験動物学会による外部検証を受検予定である。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

魚類及び両生類等を用いる実験に関しても動物実験に準じて実験計画の審査を行う事としている。